

2021年度(令和3年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか				
	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	0.00	71.43	0.00	28.57
女子	62.50	25.00	12.50	0.00

体育の授業は楽しいですか				
	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	0.00	71.43	14.29	14.29
女子	25.00	75.00	0.00	0.00

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)				
	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	42.86	42.86	14.29	0.00
女子	0.00	62.50	12.50	25.00

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	15.71	15.43	29.00	34.43	24.00	10.29	142.86	21.00	44.86
女子	15.38	18.38	33.75	38.13	29.38	10.01	150.00	12.75	51.88

県平均値(R3)かつ全国平均値(R2)未滿

重点課題および要因

情意面

・「運動が好き」の質問に対して否定的評価の児童が男女共に多い。  
 ・男子は「体育の授業が楽しい」の質問に対して否定的評価である。  
 ・女子は運動習慣があまりない児童が多かった。  
 ・友達とかかわり合う運動が減少し、それに伴って「楽しい」「もっと運動したい」という気持ちが増えた。

体力面

・全体的に体力・運動能力が低い。  
 ・合計点を見ると、県平均を男子は10点、女子は5点下回っている。  
 ・特に、50メートル走、長座体前屈は平均を大きく下回っている。  
 ・コロナ禍において、動画を見る授業など呼吸が上がる運動が制限され、運動していないことが考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

①ゴールを明確にした学習活動  
 学習のゴールや予定時間数を児童と共有して学習をスタートし、児童が計画的に学習を進められるようにする。そうすることによって、一人ひとりが目標をもって自分のペースで学習し、さらに、友達と関わり合いながらチャレンジすることができ、上達した喜びを感じ、運動の楽しさを味わうことができるようにする。  
 ②基本的技能を高めるトレーニング  
 毎時間の開始5分間には、発達段階に合わせたサーキット運動を取り入れ、基礎運動能力を養う。  
 例：左右にあるカゴにボールを走って運ぶ、新聞紙を握って丸め、それを投げてカゴに入れる  
 ③ゲーム性のある活動  
 ボールを使用すること自体が楽しいと感じる児童が多いので、球技などの単元で人数や条件、環境の工夫をすることによって、「やってみたい」「楽しい」という思いを自然と感じられるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

・なわとびを行い、持久力を高め、自分の技を磨き向上することで、できる楽しさが実感できるようにする。  
 ・なわとび朝会、なわとび発表会、なわとび検定など  
 ・柔軟性や体づくりを培う「おうちでストレッチ」を継続して行う。  
 ・週に1回ロングタイム休憩を取り入れ、長時間外で遊ぶことができる環境を設定する。  
 ・学級で決めた運動のレクリエーションを行う。

2022年度(R4年度)の重点目標値

- ・質問紙において肯定的評価を8割以上にする。
- ・50m走と長座体前屈を平均値以上にする。